

特集

●開催報告: JMRA アニュアル・カンファレンス 第 1 回(全 3 回) 改訂された綱領と 2025 年版マーケティング・リサーチ産業 VISION を発表!

TOPICS

- ●半世紀の歴史と未来へのメッセージを掲載した 50 周年記念サイトを公開
- ●JMRA・広報セミナー委員会 著者が語るシリーズ 2025 第3回 開催レポート

Vol.96

2025/10/21 配信

秋が深まり、木々の彩りにも季節の移ろいを感じるようになりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

10 月 2 日には「JMRA アニュアル・カンファレンス 2025」が開催されました。今年のテーマは「Next DepARTure—これまでの 50 年、これからの 50 年—」。マーケティング・リサーチの歩みを振り返りながら、次の半世紀に向けた新たな可能性を見つめる節目のイベントとなりました。

AIの進化や生活者の価値観の多様化など、リサーチを取り巻く変化について多くの意見交換が行われ、あらたに発表された2025 年版マーケティング・リサーチ産業 VISION「ありたい未来を創る探究主体として人を・企業を・社会をインスパイアする」も紹介されました。こちらの VISION については、11 月号で特集を予定していますので、ぜひご期待ください。

また、日本マーケティング・リサーチ協会では、設立 50 周年を記念した「50 周年記念サイト」を公開しました。これまでの活動の軌跡や業界の変遷を振り返ることができる内容となっています。本号では、カンファレンスの開催報告と記念サイトの紹介をお届けします。どうぞゆっくりとご覧ください。

メルマガ登録について詳しくはこちら

特集

JMRA 開催報告 第1回 (全3回) Annual Conference 2025

Next DepARTure —これまでの50年、これからの50年—

改訂された綱領と2025年版マーケティング・リサーチ産業 VISIONを発表!

開催報告: JMRA アニュアル・カンファレンス

第1回(全3回)

2025 年 10 月 2 日(木)、明治記念館(東京都港区)にて「JMRA アニュアル・カンファレンス 2025」が開催され、800 名を超える参加者が集いました。

創立 50 周年を記念した今回は、生成 AI や海外のマーケティング・リサーチ事情など最新トレンドを含む 20 以上のセッションを実施。セッションの最後には、業界の未来像を示す「2025 年版マーケティング・リサーチ産業 VISION」が発表されました。

本レポートでは、その新・VISION 策定に込めた思いを含め、五十嵐幹会長のメッセージをダイジェストでお届けします。

詳しくはこちら

TOPICS



50 周年記念サイトを公開 半世紀の歴史と未来へのメッセージを掲載しています

日本マーケティング・リサーチ協会は、設立 50 周年を記念して「50 周年記念サイト」を公開しました。

これまでの協会と業界の歩みを振り返るとともに、これからのリサーチの可能性を考える多彩なコンテンツを掲載しています。会長挨拶をはじめ、今後のインサイト業界の展望について会員社の皆さまからいただいたメッセージ、アニュアル・カンファレンス 2024 の座談会紹介、50 年の活動記録やデータ集などを公開しています。ぜひこの機会にご覧ください。

詳しくはこちら

TOPICS

人はなぜ合理的に動かないのか 行動経済学が導くビジネスへの新視点 JMRA・広報セミナー委員会 著者が語るシリーズ 2025 第3回 開催レポート

| 多様なるマーケティング・リサーチの 新潮流に触れる著者が語るシリーズ2025 (木)

第3回セミナーでは、関西学院大学助教授・黒川博文氏が登壇し、著書『分析者のための行動経

済学入門』(2024年11月刊)をもとに講演いただきました。

「人はなぜ合理的に行動しないのか?」――営業、マーケティング、マネジメントなど幅広い分野で 注目される行動経済学を、"データ分析者のために"ひも解く内容は、多くの参加者に新たな気づ きをもたらしました。

詳しくはこちら



最近 JMRA マーケティングデータ・ストレージに掲載された会員社の自主調査から、ウェブ・メルマ ガ委員会が精選した自主調査をご紹介します。

今月の注目調査

今月の注目調査

世論調査~ WIN40 力国·地域世論調査 (2025.09.04 (株)日本リサーチセンター)

比べて低いようです。

●WIN ワールドワイド・サーベイ ~AI に関する ●界隈ごとで見た、「民度」に関するアンケート 調査

(2025.09.17(株)アスマーク)

40 カ国·地域の人々が人工知能(AI)の台頭を 特定の界隈カテゴリー内で行動をしている人を どのように認識し、理解し、準備しているかを調 対象に、行動を最もする場所(XやInstagramな 査しています。日本の AI 使用経験率は 40 ヵ ど)、民度とそのきっかけや出来事、ルールや 国・地域の中で下から2番目の35%で、他国に暗黙の了解の程度、紹介/おすすめされた「モ ノやサービス」の購入経験などについて調査し ています。

詳しくはこちら (JMRAマーケティングデータ・ストレージ)

詳しくはこちら (JMRAマーケティングデータ・ストレージ)

連載

What's happened?

おすすめ記事をピックアップしてご紹介

今月の注目記事

今月の注目記事

●【日立・カゴメ実践録】マーケと広報、機能分 ●不安な世の中だからこそ、賢く自分らしく! けは陳腐化!? 令和の女の子たちに広まる「投資マインド」

ブランド価値を最大化する組織のカタチを探る

詳しくはこちら (外部サイト:MarkeZine) 詳しくはこちら (外部サイト:MarkeZine)

教育講座・セミナー案内

参加無料

JMRA リサーチイノベーション委員会主催 2025年度 AI・イノベーションセミナー 〈第2回〉

AIと人間の間に生まれるもの ~ Ipsosの考える質的リサーチのありかた~



11/6 * 12:00 - 12:45 Zoom開催

講師 野口 純子 氏/デシルバ 絵里奈 氏 (イブソス株式会社) 司会 佐藤 哲也 (株式会社アンド・ディ)

●2025 年度 AI・イノベーションセミナー 第 2 回

「AI と人間の間に生まれるもの ~ Ipsos の考える質的リサーチのありかた~」

第2回AI・イノベーションセミナーは、イプソス株式会社様にご登壇いただきます。

AI の急速な進化により、様々な業務の効率化が可能になってきています。 調査業界にも AI は 色々な場面で取り入れられている一方、「生成 AI だけに頼っていても大丈夫?」という疑問も浮上しています。

イプソスのグローバル定性調査部門では、いくつかのパイロットスタディを実施・公表し、2024年の ESOMAR 大会において最優秀論文賞等に輝きました。

本ウェビナーでは AI の優れている点と、反対にまだまだ人間に及ばない点などを、実際のケースを交えてお伝えします。

•日時:2025年11月6日(木)12:00~12:45

•会場:Zoom ミーティング

詳しくはこちら (外部サイト:peatix)

公的統計基盤整備委員会主催ウェビナー デジタル分野の統計把握について 2025年11月14日(金)14:00~15:00

●2025 年度公的統計基盤整備委員会主催ウェビナー 第 2 回 「デジタル分野の統計把握について」

本講座では、デジタル・エコノミー・サテライト(通称デジタル SUT) のフレームから電子商取引の位置づけを紹介します。

次にデータセンターの統計上の扱い、デジタル無料生産物(SNS 広告)の扱い、AI と統計調査、ビジネスレジスターでのデジタル仲介プラットフォーム企業の選別、電子商取引の定義、調査方法、電子商取引の統計的把握の到達点を紹介し、課題を整理します。

•日程:2025年11月14日(金)14:00~15:00

・会場:Zoom ウェビナー

詳しくはこちら



●西日本コラボレーション研究会周年イベント【会員限定】

西日本コラボレーション研究会では、毎年恒例の「周年イベント」を開催します。

西日本を拠点に活動するリサーチ会社・リサーチャー間の交流を目的としたコラボレーションイベントで、今回は JRMA 創立 50 周年を節目に開催された「JMRA アニュアル・カンファレンス 2025」

のテーマのうち「AI はリサーチをどう考えるのか?技術の最前線から未来を読み解く」を視聴予定です。

講演のみの参加も可能ですが、終了後は懇親会も企画していますので、ぜひ両方のご参加をご 検討ください。

■日程:2025年11月19日(水)17:00~18:10 懇親会 18:30~20:30

・会場:ハイブリッド

リアル会場:インテージ西日本支社 5階会議室

オンライン:Zoom ウェビナー

詳しくはこちら



マーケティング・リサーチ ステップアップコース ~統計的データ分析の基礎講座~ 2025 年 11 月 26 日 (水)

●マーケティング・リサーチ ステップアップコース

~統計的データ分析の基礎講座~

本講座では、まず統計手法を用いたデータ分析において基礎知識として必要となる「尺度の種類」 について触れます。統計的データ分析では扱うデータの尺度によって制限が生じます。そこで、簡単に「尺度の種類」と、尺度の種類により可能となるデータ分析法について解説します。

このような基礎知識を習得した上で、1 変量(ひとつのデータ)の分布の読み取り方と、2 変量(2 つのデータ)以上の関係についての「クロス集計」、「相関」(各種の「相関係数」)等を学習します。

また、分布の特性等の読み取り(「ファインディング」)を行う時、分布や平均値等に差があるかどうかを分析者の判断のみに依存すると、往々にして分析者によって異なる判断となる恐れがあります。そこで、カテゴリー数が 2 つずつの 2 変数のクロス集計表を事例に、「検定」の基本的考え方と手法についても学習します。

本講座は、マーケティング・リサーチの計画担当者、集計担当者、分析担当者にぜひお薦めしたい内容です。

•日程:2025年11月26日(水)10:00~17:00

•会場:JMRA 研修室(会場集合型対面形式)



マーケティング・リサーチ エキスパートコース ~テスト・実験調査の設計と 2025 年12 月12 日(金) 結果のデータ分析~

●マーケティング・リサーチ エキスパートコース

~テスト・実験調査の設計と結果のデータ分析~

本講座では、テスト・実験調査の様々な構成要素に関わる計画立案の方法を学習します。さらに、 各種のテスト・実験の結果から得られた様々なデータの分析手法も学習します。

テスト・実験調査に関わるこれらの学習によって、目的に即したテスト・実験調査の妥当な計画立案が可能となるとともに、得られたデータから目的に即した信頼できる結果を検出することが可能になるでしょう。

このことは、テスト・実験調査を発注するクライアントの担当者には必須の知識であるとともに、受注する側の調査会社の方にとっても、クライアントと協力してよりよいテスト・実験調査計画立案の助言を行い、妥当な実施を行い、結果から有用な情報を検出・提供する手助けとなるでしょう。そのため、クライアント・調査会社双方のテスト・実験調査の計画・実施・分析担当者に、ぜひ受講することをお薦めします。

•日程:2025年12月12日(金)10:00~17:00

•会場:JMRA 研修室(会場集合型対面形式)

詳しくはこちら



●「インターネット調査の品質向上のために」講演ビデオの視聴ご案内

2025 年 7 月 25 日、JMRA インターネット調査品質委員会主催で行われ、大変好評を博した東洋大学社会学部 山田一成教授の「インターネット調査の品質向上のために」の講演ウェビナーをオンデマンド・ビデオでご視聴いただけるようにしました。

調査を依頼するクライアントの方も含め、調査の企画・設計を担うすべての方に役立つ内容となっておりますので、ぜひ多くの方にご視聴いただければと思います。

ビデオは、下記よりご登録いただいた方に、視聴用の URL とパスワードをお知らせしております。

•視聴期間:2025年10月31日(金)まで

詳しくはこちら

お知らせ

●JMRA が後援するイベントのご案内

JMRA では、市場調査業界のドメイン拡張と関連業界とのコラボ促進を目指し、さまざまなイベントへの出展・後援を行っています。

今後も各主催団体と連携し、共同研究発表など、お互いのコンテンツをジョイントしていける場を拡張していく予定です。

HMIC Conference 2025

2025年10月28日(火)

【HMIC Conference 2025 のご案内】

インサイトの質を高めることを目的とした共創と実装のコミュニティ HMIC がカンファレンスを開催します。医療・ヘルスケア業界の激変期において、調査・インサイトを通じて製品価値・事業価値の最大化を図る事業会社と、それを支援する皆様の双方に学びの多いプログラムをお届けします。

- •名称: HMIC カンファレンス 2025 (第8回)
- 日程: 2025 年 10 月 28 日(火)9:30~18:00
- **-会場**: 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター2F WEST ホール

詳しくはこちら (外部サイト:HMIC)

●11 月号は 11 月 18 日(火)発行予定です

- ◆このメールはメルマガをご登録されている方に配信しています。
- ◆配信停止を希望される方は こちらよりお願いいたします。
- ◆このメールは送信用アドレスから配信しているため、ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。
- ◆プライバシーポリシーは こちらをご覧ください。
- ◆配信元: 一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-9-9 石川LKビル 2 階

https://www.jmra-net.or.jp/

office@jmra-net.or.jp

あなたの中に未来がある。